

博士論文（要約）

アンドレ・ブルトンにおけるオートマティスムの
概念とその変遷

中田健太郎

目次

序論

1. アンドレ・ブルトンにおけるオートマティスムの概念
2. 先行研究（一）——1980年代以降の研究
3. 先行研究（二）——1970年代中盤以降の研究
4. 本論の立場および構成

第 I 部 シュルレアリスム運動以前の「オートマティスム」

1 章 機械論的来歴

- 1-1. デカルト哲学から生理学へ
- 1-2. 実験心理学におけるオートマティスムと観念連合
- 1-3. ジャネ以降の精神医学におけるオートマティスム

2 章 精神分析における「オートマティスム」

- 2-1. フランスにおける「精神=分析」理解
- 2-2. 観念連合と自由連想

第 II 部 シュルレアリスム、あるいはオートマティスムの誕生（1920年代前半を中心に）

1 章 「霊媒の登場」におけるオートマティスム

- 1-1. オートマティスム≡シュルレアリスム
- 1-2. オートマティスムとスピリティスム

1-3. 声はどこからやってくるのか——「霊媒の登場」の場合

2章 コラージュ詩の問題

2-1. エクリチュール・オートマティックくコラージュ

2-2. アラゴンの機械論的コラージュ

2-3. 広告という課題

3章 「シュルレアリスム宣言」とオートマティスム

3-1. オートマティスムの技法と「火花」

3-2. 「声」はどのようにやってくるのか——「宣言」の場合

3-3. シュルレアリスム≠オートマティスム

第 III 部 シュルレアリスムの造型芸術における「オートマティスム」（1920年代後半を中心に）

1章 「シュルレアリスムと絵画」をめぐって

1-1. オートマティスムとイリュージョン

1-2. 「内的モデル」とはなにか

2章 美術におけるオートマティスムと方法の多様性

2-1. デッサン・オートマティックについて——マッソンの場合

2-2. コラージュとフロッタージュ——エルンストの場合

2-3. レディ・メイドの選択について——デュシャンの場合

第 IV 部 1930年代のシュルレアリスムにおける「オートマティスム」

1章 1930年代のオートマティスム論

- 1-1. 能動的オートマティスム（一）——パラノイアをめぐって
- 1-2. 能動的オートマティスム（二）——精神病の擬態をめぐって
- 1-3. オートマティスムと解釈の可能性——客観的偶然をめぐって

2章 1930年代のブルトンの思想におけるオートマティスム

- 2-1. 観念論とオートマティスム
- 2-2. 精神分析の再読とオートマティスム

3章 オートマティスムとそのヴァリエーション

- 3-1. 1930年代のシュルレアリストたちにとってのオートマティスム
- 3-2. ヴァリエーションのオートマティスム、あるいはシュルレアリスム遊戯

第V部 1940年代以降のシュルレアリスムにおけるオートマティスム

1章 絶対的オートマティスムの展開

- 1-1. 絶対的オートマティスムとはなにか
- 1-2. 絶対的オートマティスムと疑似科学——リトクロニスムについて
- 1-3. 第二次世界大戦後のオートマティスム論——「1954年の絵画の状況」

2章 ブルトンの詩論とオートマティスム

- 2-1. シニフィアンの誕生をめぐって
- 2-2. ブルトンの詩における形態学

結論

文献表

内容要約

本博士論文の主題は、アンドレ・ブルトンにおける「オートマティスム」の概念である。しかし本論は、その概念を一義的に定めようとするものではない。ブルトンのテクストのなかで長年にわたって語り継がれ、また多くのシュルレアリストたちの言語的・造型的実践と関係づけられるうちに、オートマティスムという言葉は多くの理論的展開をしめしてきた。本論は、この概念の歴史的な多義性を追跡することを目的としている。

ブルトン研究は、その研究史の初期（1970年代中盤）以来、オートマティスムの理論的起源探しに必要以上に奔走してきた。本論の方針は、そのような研究史にたいする反省に立脚している。また、1980年代以降の優れた研究においては、オートマティスムはしばしば理論的虚構として棚上げされ、とりわけその生産物に目が向けられてきた。しかし、アヴァンギャルドの一貫した理論とは異なるものとして、多義性を抱えこんだ概念を評価しはじめようとする立場から、本論はオートマティスムの理論としてのあり方にあらためて焦点をあてたのである。

本論の第一部では、シュルレアリスム運動が始まる以前の思想史をとりあつかった。デカルト哲学にたいする註釈の歴史からはじまり、心理学や精神医学などにおいて、「オートマティスム (automatisme)」というフランス語がどのように用いられてきたのか、具体的に検討した。とりわけ、精神医学と精神分析の接点で、オートマティスムという語のうちに複数の自動性の概念がはいりこんだことが確認された。ブルトンが用いはじめた段階でオートマティスムには、唯物論的とも観念論的とも考えられるような複層的な意味が同居していたのである。

第二部から第五部では、シュルレアリスム運動における「オートマティスム」の概念の変遷を、それぞれの時代区分にしたがって検討した。第二部は、「シュルレアリスム宣言」（1924年）にいたるまでのブルトンの理論的テクストをあつかっている。とりわけ、「霊媒の登場」（1922年）に見られるスピリティスム（交霊術）の伝統の意義が、オートマティスム論のうちにどのような反響をのこしたのか、具体的に考察した。さらに、ブルトンの初期の詩学的課題であったコラージュ詩の問題が、エクリチュール・オートマティックと結んでいた関係についても、ここで跡づけた。

第三部は、造型的な領域におけるオートマティスムを主題としている。運動における美術の問題を位置づけたとされる、ブルトンの「シュルレアリスムと絵画」（1928年）を主要

テキストとしながら、マックス・エルンストやアンドレ・マッソンといったシュルレアリストたちのオートマティスム理解との比較検討もおこなった。ここではとりわけ、オートマティスムという語が具体的な方法論と結びついた様子が確認された。

第四部では、「シュルレアリスム第二宣言」（1929年）のような理論的テキストや、エクリチュール・オートマティックの詩集である『処女懐胎』（1930年）などを分析しつつ、1930年代のブルトンの思想をとりあげた。30年代は、ブルトンがオートマティスムの理論を能動的なものへと変化させていった時期と目されている。しかし本論ではむしろ、この時期に見られたいくつかの変更点も、ここまでに確認されてきたオートマティスムの多義的な展開の範疇でとらえうると考えた。

第五部は、1940年代以降の時期をあつかい、第二次世界大戦後のシュルレアリスム・グループ内での用法についても検討した。とりわけ、ブルトンが1939年から用いはじめた「絶対的オートマティスム」という概念が、物質と精神が交流する認識の問題をしめしていたことについて、オスカル・ドミンゲスなどの実践とともに考察した。また、ブルトンのこの時期の詩作についても、同様の認識の問題にかかわるものとしてとりあげている。

文献表

I. アンドレ・ブルトンおよびシュルレアリストのテキスト・資料

1. アンドレ・ブルトンのテキスト

BRETON, André et SOUPAULT, Philippe, [Le manuscrit des *Champs magnétiques*], 1918, Bibliothèque nationale, N. A. F. 18303.

BRETON, André, [Les Lettres autographes], Bibliothèque nationale, N. A. F. 18358.

BRETON, André, « Pour Dada », *La Nouvelle Revue Française*, août 1920, p. 208-215.

BRETON, André, « En marge des *Champs magnétiques* », *Change*, n° 7, 1970, p. 9-29.

BRETON, André, *Œuvres complètes*, t. 1-4, Paris, Gallimard, 1988-2008.

BRETON, André et SOUPAULT, Philippe, *Les Champs magnétiques : Le manuscrit original fac-similé et transcription*, Paris, Lachenal & Ritter, 1988.

BRETON, André et ELUARD, Paul, *L'Immaculée conception : Édition fac-similé du manuscrit du Musée Picasso*, Lausanne, L'Age d'Homme, 2002.

BRETON, André, *Lettres à Aube : 1938-1966*, Paris, Gallimard, 2009.

ブルトン、アンドレ編『黒いユーモア選集』上下巻、山中散生＋窪田般彌＋小海永二ほか訳、国文社、1968-1969年。

ブルトン、アンドレ『アンドレ・ブルトン集成』第1、3-7巻、瀧口修造監修、人文書院、1970-1974年。

ブルトン、アンドレ＋エリュアール、ポール『シュルレアリスム簡約辞典』、江原順訳、現代思潮新社、1971年。

ブルトン、アンドレ『通底器』、足立和浩訳、現代思潮社、1978年。

ブルトン、アンドレ『シュルレアリスム宣言集』、森本和夫訳、現代思潮社、1989年。

ブルトン、アンドレ『シュルレアリスム宣言・溶ける魚』、巖谷國士訳、岩波文庫、1992年。

ブルトン、アンドレ『秘法十七』、入沢康夫訳、人文書院、1993年。

ブルトン、アンドレ『ブルトン、シュルレアリスムを語る』、稲田三吉＋佐山一訳、思潮社、1994年。

ブルトン、アンドレ『シュルレアリスムと絵画』、瀧口修造＋巖谷國士監訳、人文書院、1997

年。

ブルトン、アンドレ『超現実主義宣言集』、生田耕作訳、中公文庫、1999年。

ブルトン、アンドレ『魔術的芸術』、巖谷國士監訳、河出書房新社、2002年。

ブルトン、アンドレ『至高の愛——アンドレ・ブルトン美文集』、松本完治編訳、エディション・イレーヌ、2002年。

ブルトン、アンドレ『ナジャ』、巖谷國士訳、岩波文庫、2003年。

ブルトン、アンドレ『狂気の愛』、海老坂武訳、光文社古典新訳文庫、2008年。

ブルトン、アンドレ+エリュアル、ポール『思考の表裏』、堀口大學編訳、閏月社、2011年。

ブルトン、アンドレ『マルティニーク島蛇使いの女』、松本完治訳、エディション・イレーヌ、2015年。

2. アンドレ・ブルトン以外のシュルレアリストのテキスト

ARAGON, Louis, *Collages*, Paris, Hermann, 1965 ; Paris, Hermann, 1980.

ARAGON, Louis, *Je n'ai jamais appris à écrire ou les "incipit"*, Paris, Skira, 1969 [アラゴン、ルイ『冒頭の一句または小説の誕生』、渡辺広士訳、新潮社、1975年].

ARAGON, Louis, *Lautréamont et nous* (1967), Toulouse, Sables, 1992.

ARAGON, Louis, *Traité du style*, Paris, Gallimard, 1928 ; Paris, Gallimard, 1980 [アラゴン、ルイ「文体論」、川上勉訳、『世界文学全集』第78巻、講談社、1975年、295-388頁].

ARAGON, Louis, *Œuvres romanesques complètes*, t. 1-5, Paris, Gallimard, 1997-2012.

ARAGON, Louis, *Œuvres poétiques complètes*, t. 1-2, Paris, Gallimard, 2007.

アラゴン、ルイ『イレーヌのコン・夢の波』、江原順訳、現代思潮社、1977年。

アラゴン、ルイ『アラゴン選集』第1-3巻、大島博光+服部伸六+嶋岡晨訳、飯塚書店、1978-1979年。

アラゴン、ルイ『パリの農夫』、佐藤朔訳、思潮社、1988年。

アラゴン、ルイ『ダダ追想』、川上勉訳、萌書房、2008年。

CHARBONNIER, Georges, *Entretiens avec Marcel Duchamp*, Marseille, André Dimanche, 1994.

CREVEL, René, *L'Esprit contre la raison et autres écrits surréalistes*, Paris, Pauvert, 1986.

DAUMAL, René, *L'Evidence absolue : essais et notes I (1926-1934)*, Paris, Gallimard, 1972.

DAUMAL, René, *Les Pouvoirs de la parole : essais et notes II (1935-1943)*, Paris, Gallimard, 1972.

DALÍ, Salvador, *Oui*, Paris, Denoël, 2004.

- ダリ、サルヴァドール『ミレー《晩鐘》の悲劇的神話——「パラノイアの=批判的」解釈』、鈴木雅雄訳、人文書院、2003年。
- ダリ、サルヴァドール『ダリはダリだ——ダリ著作集』、北山研二訳、未知谷、2011年。
- DESNOS, Robert, *Nouvelles Hébrides et autres textes 1922-1930*, Paris, Gallimard, 1978.
- DESNOS, Robert, *Œuvres*, Paris, Gallimard, 1999.
- DUCHAMP, Marcel, *Duchamp du signe, écrits*, Paris, Flammarion, 1975 ; nouvelle édition revue et augmentée, Paris, Flammarion, 2005 [デュシャン、マルセル『マルセル・デュシャン全著作』、北山研二訳、未知谷、1995年].
- DUCHAMP, Marcel, *Marcel Duchamp, notes*, Paris, Centre National d'art et de Culture Georges Pompidou, 1980.
- DUCHAMP, Marcel, *Manual of instructions for Etant Donnés: 1. La chute d'eau, 2. Le gaz d'éclairage*, Philadelphia, Philadelphia Museum of Art, 1987.
- DUCHAMP, Marcel, *Entretiens avec Pierre Cabanne*, Paris, Somogy, 1995.
- ÉLUARD, Paul, *Œuvres complètes*, t. 1-2, Paris, Gallimard, 1968.
- ÉLUARD, Paul, *Lettres à Gala. 1924-1948*, Paris, Gallimard, 1984.
- エリュアール、ポール『エリュアール選集』第1-2巻、嶋岡晨訳、飯塚書店、1972年。
- ERNST, Max, *Écritures*, Paris, Gallimard, 1970.
- エルンスト、マックス『絵画の彼岸』、巖谷國士訳、河出書房新社、1975年。
- FRAENKEL, Théodore, *Carnets 1916-1918*, Paris, Éditions des Cendres, 1990.
- ジャンジャンバック、エルネスト・ド『パリのサタン』、鈴木雅雄訳、風濤社、2015年。
- GIACOMETTI, Alberto, *Ecrits*, Paris, Hermann, 1990.
- HENEIN, Georges, *Œuvres*, Paris, Editions Denoël, 2005.
- JOUFFROY Alain, *Marcel Duchamp*, Paris, Centre Georges Pompidou/Dumerchez, 1997.
- LEIRIS, Michel, *Entre augures. Un entretien entre Michel Leiris et Jean Schuster*, Paris, Terrain Vague, 1990.
- LEIRIS, Michel, *L'Évasion souterraine*, Montpellier, Fata Morgana, 1992.
- LEIRIS, Michel, *La Règle du jeu*, Paris, Gallimard, 2003.
- MAGRITTE, René, *Ecrits complets*, Paris, Flammarion, 1992.
- MASSON, André, *Vagabond du surréalisme*, Paris, Éditions Saint-Germain-des-Près, 1975.
- MASSON, André, *Le Rebelle du surréalisme : Écrits*, Paris, Hermann, 1976.
- MASSON, André, *Les Années surréalistes : Correspondance 1916-1942*, Paris, La Manufacture,

- 1990.
- NAVILLE, Pierre, *L'automation et le travail humain*, Paris, Centre National de la Recherche Scientifique, 1961.
- NAVILLE, Pierre, *Vers l'automatisme social ?*, Paris, Gallimard, 1963.
- NOUGÉ, Paul, *Histoire de ne pas rire*, Lausanne, L'Age d'Homme, 1980.
- NOUGÉ, Paul, *René Magritte (in extenso)*, Bruxelles, Didier Devillez Editeur, 1994.
- ONSLOW-FORD, Gordon et GUILLON, Jean-Pierre (tr.), *Yves Tanguy et l'automatisme*, La digitale, Quimperlé, 2002.
- PASTOUREAU, Henri, *Ma vie surréaliste*, Paris, Maurice Nadeau, 1992.
- PÉRÉT, Benjamin, *Œuvres complètes*, t. 1-7, Paris, Eric Losfeld [t. 1-3] / José Corti [t. 4-7], 1969-1995.
- ペレ、バンジャマン『サン=ジェルマン大通り一二五番地で』、鈴木雅雄訳、風濤社、2013年。
- ROLLAND de RENÉVILLE, André, « Dernier état de la poésie surréaliste », *NRF*, février 1932, p. 284-293.
- SOUPAULT, Philippe, *Profil perdu*, Paris, Mercure de France, 1963,
- SOUPAULT, Philippe, *Vingt mille et un jours : entretiens avec Serge Fauchereau*, Paris, Belfond, 1980.
- SOUPAULT, Philippe, *Mémoire de l'oubli*, t. 1-4, Paris, Lachenal & Ritter, 1981-1997.
- SOUPAULT, Philippe, *Essai sur la Poésie*, Eynard, 1950, repris en appendice dans *Poèmes retrouvés*, Paris, Lachenal & Ritter, 1982.
- 瀧口修造『コレクション瀧口修造』第1-13巻、みすず書房、1991-1996年。
- TZARA, Tristan, *Œuvres complètes*, t. 1-6, Paris, Flammarion, 1975-1991.
- ツァラ、トリスタン『トリスタン・ツァラの仕事』第1-2巻、浜田明+大平具彦+塚原史訳、思潮社、1988年。
- ツァラ、トリスタン『種子と表皮』、塚原史訳、思潮社、1988年。
- ツァラ、トリスタン『ムッシュー・アンチピリンの宣言——ダダ宣言集』、塚原史訳、光文社古典新訳文庫、2010年。
- VACHÉ, Jacques, *Lettres de Guerre*, Paris, Eric Losfeld, 1970.

3. シュルレアリスムおよびその周辺の雑誌

Dada, Zurich-Paris, 1916-1922 ; réimpression, Paris, Jean-Michel Place, 1978.

Littérature, 1^{ère} série, n° 1-20, 1919-1921 ; 2^{ème} série, n° 1-13, 1922-1924 ; réimpression, Paris, Jean-Michel Place, 1978.

La Révolution surréaliste, n° 1-12, 1924-1929 ; réimpression, Paris, Jean-Michel Place, 1975.

Le Surréalisme au service de la révolution, n° 1-6, 1930-1933 ; réimpression, Paris, Jean-Michel Place, 1975.

Minotaure, n° 1-6, 1933-1936 ; réimpression, Tokyo, Misuzu Shobo, 1986.

DYN, n° 1-6, 1942-1944 ; réimpression, KOYBER, Christan (éd.), *Wolfgang Parlen's DYN : the complete reprint*, New York, Springer, 2000.

La Conquête du monde par l'image, Paris, La Main à plume, 1942.

V. V. V., n° 1-4, 1942-1944.

Néon, n° 1-5, 1948-1949.

Médium : Communication surréaliste, n° 1-4, 1953-1955.

Le Surréalisme, même, n° 1-5, 1956-1959.

Bief : Jonction surréaliste, n° 1-8, 1961-1965.

L'Archibras, n° 1-7, 1967-1969.

Coupure, n° 1-7, 1969-1972.

4. 展覧会等カタログ

André Masson, Paris, Centre Georges Pompidou, 1977.

Matta, Paris, Centre Georges Pompidou, 1985.

Philippe Soupault : Voyageur magnétique, Paris, Cercle d'Art, 1989.

André Breton : La Beauté convulsive, Paris, Centre Georges Pompidou, 1991.

Automatismos paralelos : la Europa de los movimientos experimentales, 1944-1956, Las Palmas de Gran Canaria, Centro atlántico de arte moderno, 1992.

Portrait(s) de Philippe Soupault, Paris, Bibliothèque Nationale de France, 1997.

La révolution surréaliste, Paris, Centre Georges Pompidou, 2002.

André Breton. 42, rue Fontaine, Paris, Calmels Cohen, 2003.

Dada, Paris, Centre Georges Pompidou, 2005.

La part du jeu et du rêve : Óscar Domínguez et le surréalisme 1906-1957, Paris, Hazan, 2005.

Cobra, Paris, Hazan, 2008.

La Subversion des images : Surréalisme Photographie Film, Paris, Centre Georges Pompidou, 2009.

5. 辞典、資料集

BIRO, Adam et PASSERON, René, *Dictionnaire général du surréalisme et de ses environs*, Paris, P. U. F., 1982.

CLÉBERT, Jean-Paul, *Dictionnaire du surréalisme*, Paris, Seuil, 1996.

PIERRE, José (éd.), *Tracts surréalistes et déclarations collectives*, t. 1-2, Paris, Losfeld, 1980, 1982.

PIERRE-HENRI, Kleiber, *Les Dictionnaires surréalistes (1924-1976) : Alphabet et déraison*, Paris, Honoré Champion, 2013.

VIRMAUX, Alain et Odette, *Les grandes figures du surréalisme*, Paris, Bordas, 1994.

『シュルレアリスムの資料——シュルレアリスム読本 4』、稲田三吉＋笹本孝＋塚原史訳、思潮社、1981年

Archives du surréalisme, t. 1-5, Paris, Gallimard, 1988-1995

II. シュルレアリスムおよびその周辺のアヴァンギャルドに関わる研究

1. 著作

阿部良雄『ひとでなしの詩学』、小沢書店、1982年。

ADAMOWICZ, Elza, *Surrealist Collage in Text and Image. Dissecting the Exquisite Corpse*, Cambridge, Cambridge University Press, 1998.

ADAMOWICZ, Elza, *Ceci n'est pas un tableau : les écrits surréalistes sur l'art*, Lausanne, L'Age d'Homme, 2004.

ALEXANDRIAN, Sarane, *Le Surréalisme et le rêve*, Paris, Gallimard, 1974.

ALEXANDRIAN, Sarane, *Georges Henein*, Paris, Seghers, 1981.

ALQUIÉ, Ferdinand, *Philosophie du surréalisme*, Paris, Flammarion, 1977.

ARMSTRONG Tim, *Modernism, Technology, and the Body: A Cultural Study*, Cambridge,

- Cambridge University Press, 2008.
- BALAKIAN, Anna, *André Breton : Magus of surrealism*, New York, Oxford University Press, 1971.
- BANDIER Norbert, *Sociologie du surréalisme : 1924-1929*, Paris, La Dispute, 1999.
- BATACHE, Eddie, *Surréalisme et Tradition : la pensée d'André Breton jugée selon l'œuvre de René Génon*, Paris, Editions Traditionnelles, 1978.
- BÉHAR, Henri, *Les Enfants perdus : Essai sur l'avant-garde*, Lausanne, L'Age d'Homme, 2003.
- BELLEMIN-NOËL, Jean, *Biographies du désir. Stendhal-Breton-Leiris*, Paris, P. U. F., 1988.
- BERRANGER, Marie-Paule, *Dépaysement de l'aphorisme*, Paris, José Corti, 1988.
- BERRANGER, Marie-Paule, *Les Genres Mineurs dans la poésie moderne*, Paris, P. U. F., 2004.
- BOIS, Yves-Alain et KRAUSS, Rosalind, *Formless. A User's Guide*, New York, Zone Books, 1977
[ボワ、イヴ=アラン+クラウス、ロザリンド『アンフォルム——無形なものの事典』、加治屋健司+近藤學+高桑和巳訳、月曜社、2011年].
- BOMMERTZ, Claude, *Le Chant automatique d'André Breton et la tradition du haut-dire*, Paris, Peeters, 2004.
- BONNET, Marguerite, *André Breton, naissance de l'aventure surréaliste*, Paris, José Corti, 1975 ; édition revue et corrigée, 1988.
- CAPE, Anouk, *Représentations et imaginaire de la folie dans la littérature d'avant-garde 1900-1950*, thèse en cours.
- CARLAT, Dominique, *Gherasim Luca, l'intempestif*, Paris, José Corti, 1998.
- CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline, *Le surréalisme et le roman : 1922-1950*, Lausanne, L'Age d'Homme, 1983.
- CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline, *Le surréalisme*, Paris, P. U. F., 1984 [シェニウー=ジャンドロン、ジャクリーヌ『シュルレアリスム』、星埜守之+鈴木雅雄訳、人文書院、1997年].
- CLAIR, Jean, *Marcel Duchamp ou le grand fictif : essai de mythanalyse du Grand verre*, Paris, Galilée, 1975.
- COMPAGNON, Antoine, *Les cinq paradoxes de la modernité*, Paris, Seuil, 1990 [コンパニオン、アントワーン『近代芸術の五つのパラドックス』中地義和訳、水声社、1999年].
- CONLEY, Katharine, *Surrealist Ghostliness*, Lincoln, University of Nebraska Press, 2013.
- CRASTRE, Victor, *André Breton, Trilogie surréaliste*, Paris, CDU., Sedes, 1971.
- DE DUVE, Thierry, *Nominalisme Pictural : Marcel Duchamp la peinture et la modernité*, Paris,

- Minuit, 1984 [ド・デュヴ、ティエリー『マルセル・デュシャン——絵画的唯名論をめぐって』、鎌田博夫訳、法政大学出版局、2001年].
- DE DUVE, Thierry, *Résonances du readymade*, Paris, Hachette, 2006.
- DUMAS, Marguerite, *Robert Desnos ou l'expérience des limites*, Paris, Klincksieck, 1980.
- DUROZOI, Gérard, *Histoire du mouvement surréaliste*, Paris, Hazan, 1997.
- GAUCHET, Marcel, *L'inconscient cérébral*, Paris, Seuil, 1999.
- GRACQ, Julien, *André Breton, quelques aspects de l'écrivain*, Paris, José Corti, 1948 ; *Œuvres complètes*, Paris, Gallimard, 1989, p. 399-515.
- GREENBERG, Clement, *The Collected Essays and Criticism*, t. 1-4, Chicago, The University of Chicago Press, 1988-1995.
- グリーンバーグ、クレメント『グリーンバーグ批評選集』、藤枝晃雄訳、勁草書房、2005年。
- 星椋守之『ジャン=ピエール・デュプレール——黒い太陽』、水声社、2010年。
- 石井祐子『コラージュの彼岸——マックス・エルンストの制作と展示』、ブリュッケ、2014年。
- 巖谷國士『シュルレアリスムと芸術』、河出書房新社、1976年。
- 巖谷國士『ナジャ論』、白水社、1977年。
- JACQUES, Poirier, *Littérature et psychanalyse : les écrivains français face au freudisme, 1914-1944*, Dijon, Éditions universitaires de Dijon, 1998.
- JENNY, Laurent, *La parole singulière*, Paris, Belin, 1990.
- JENNY, Laurent, *La fin de l'intériorité*, Paris, P. U. F., 2002.
- 河本真理『切断の時代——20世紀におけるコラージュの美学と歴史』、ブリュッケ、2007年。
- KRAUSS, Rosalind, *The Originality of the Avant-Garde and Other Modernist Myths*, Cambridge, MIT Press, 1985 [クラウス、ロザリンド『オリジナリティと反復』、小西信之訳、リブポート、1994年].
- KRAUSS, Rosalind, ADES, Dawn et LIVINGSTON, Jane, *Explosante-Fixe : photographie & surréalisme*, Paris, Hazan, 2002.
- KUSPIT, Douglas, *Signs of Psyche in Modern and Postmodern art*, Cambridge, Cambridge University Press, 1993.
- LEGRAND, Géraud, *André Breton en son temps*, Paris, Le Soleil noir, 1976.
- LEVAILLANT, Françoise, *André Masson : Rupture et tradition*, Milano, Mazzotta, 1988.

- ルヴァイアン、フランソワーズ『記号の殺戮』、谷川多佳子＋千葉文夫＋太田泰人＋廣田治子訳、みすず書房、1995年。
- LONG, James Allen, *Collage as poetic strategy : Apollinaire, Tzara, Ernst, Péret*, Michigan, UMI, 1995.
- MASSON, Céline, *Hans Bellmer : Le faire-œuvre perversif*, Paris, L'Harmattan, 2000.
- 松浦寿輝『口唇論——記号と官能のトポス』、青土社、1985年。
- 松浦寿輝『謎・死・闕——フランス文学論集成』、筑摩書房、1997年。
- MÈREDIEU, Florence de, *André Masson, les dessins automatiques*, Paris, Blusson, 1988.
- NAEYER, Christine De, *Paul Nougé et la photographie*, Bruxelles, Didier Devillez Editeur, 1995.
- 長尾天『イヴ・タンギー——アーチの増殖』、水声社、2014年。
- 中田健太郎『ジョルジュ・エナン——追放者の取り分』、水声社、2013年。
- PARKINSON, Gavin, *Surrealism, art and modern science*, New Haven/London, Yale University Press, 2007.
- PIERRE, José, *André Breton et la peinture*, Lausanne, L'Age d'Homme, 1987.
- POLIZZOTTI, Mark, *Revolution of the Mind : The Life of André Breton*, New York, Farrar, Straus and Giroux, 1995.
- RAUZY, Alain, *À propos de L'Immaculée Conception d'André Breton et Paul Éluard*, Paris, Thèse de médecine, 1970.
- RIFFATERRE, Michael, *La Production du texte*, Paris, Seuil, 1979.
- ROBERT, Bernard-Paul, *Le Surréalisme désoculté*, Ottawa, Éditions de l'université d'Ottawa, 1975.
- ROSOLATO, Guy, *Pour une psychanalyse exploratrice dans la culture*, Paris, P. U. F., 1993.
- RUBIO, Emmanuel, *Les philosophies d'André Breton (1924-1941)*, Lausanne, L'Age d'Homme, 2009.
- 齊藤哲也『ヴィクトル・ブローネル——燐光するイメージ』、水声社、2009年。
- 齊藤哲也『零度のシュルレアリスム』、水声社、2011年。
- 齊藤哲也『ヴォルフガング・パーレン——幻視する横断者』、水声社、2012年。
- SANOUILLET, Michel, *Dada à Paris*, Paris, Jean-Jacques Pauvert, 1965 [サヌイエ、ミシェル『パリのダダ』、安堂信也＋浜田明＋大平具彦訳、白水社、2007年].
- SAWIN, Martica, *Surréalisme in Exil and the Beginnings of the New York School*, Cambridge, MIT Press, 1995.

- SCAEFFER, Jean-Marie, *L'art de l'âge moderne : L'esthétique et la philosophie de l'art du XVIII^{ème} siècle jusqu'à nos jours*, Paris, Gallimard, 1992.
- SCHWARZ, Arturo, *The Complete Works of Marcel Duchamp*, t. 1-2, New York, Harry N. Abrams, 1995.
- SCOPELLITI, Paolo, *L'Influence du surréalisme sur la psychanalyse*, Lausanne, L'Age d'Homme, 2002.
- SEBBAG, Georges, *L'Imprononçable jour de ma naissance, 17ndré 13reton*, Paris, Jean-Michel Place, 1988.
- SEBBAG, Georges, *L'Imprononçable jour de sa mort, Jacques Vaché, janvier 1919*, Paris, Jean-Michel Place, 1989.
- SEBBAG, Georges, *Potence avec paratonnerre : Surréalisme et philosophie*, Paris, Hermann, 2012.
- SPIES, Werner, *Max Ernst. Les Collages, invention de l'univers surréaliste*, Paris, Gallimard, 1991.
- SUQUET, Jean, *Miroir de la mariée*, Paris, Flammarion, 1974.
- SUQUET, Jean, *Le Grand Verre rêvé*, Paris, Aubier, 1991.
- 鈴木大悟『ルネ・クルヴェル——ちりぢりの生』、水声社、2011年。
- 鈴木雅雄『シュルレアリスム、あるいは痙攣する複数性』、平凡社、2007年。
- 鈴木雅雄『ゲラシム・ルカ——ノン=オイディプスの戦略』、水声社、2009年。
- 鈴木雅雄、林道郎『シュルレアリスム美術を語るために』、水声社、2011年。
- 鈴木雅雄『マクシム・アレクサンドル——夢の可能性、回心の不可能性』、水声社、2012年。
- SUZUKI, Masao, *Faits Divers Surréalistes*, Paris, Place Ne, 2013.
- SYLVESTER, David et WHITFIELD Sarah, *René Magritte : catalogue raisonné*, t. 1-5, Paris, Flammarion, 1992-1994.
- 谷昌親『ロジェ・ジルベール=ルコント——虚無へ誘う風』、水声社、2010年。
- 谷川渥『シュルレアリスムのアメリカ』、みすず書房、2008年。
- 谷口亜沙子『ジョゼフ・シマ——無音の光』、水声社、2011年。
- TLATLI, Soraya, *Le Psychiatre et ses poètes : Essai sur le jeune Lacan*, Paris, Tchou, 2000.
- TLATLI, Soraya, *La folie lyrique : Essai sur le surréalisme et la psychiatrie*, Paris, L'Harmattan, 2004.
- VIELWAHR, André, *Sous le signe de la contradiction : André Breton de 1923 à 1924*, Paris, Nizet, 1980.
- VIELWAHR, André, *S'affranchir des contradictions : André Breton de 1925 à 1930*, Paris,

L'Harmattan, 2000.

WINTER Amy, *Wolfgang Paalen : artist and theorist of the avant-garde*, Westport, Praeger publishers, 2003.

2. 論文集

ALLAIN, Patrice (éd.), *Au-delà de la peinture : Ces rêveurs définitifs*, Nantes, Éditions joca séria, 2006.

BOMMERTZ, Claude et CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline (éd.), *Regards/mises en scène dans le surréalisme et les avant-gardes*, Paris, Peeters, 2002.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline (éd.), *Du surréalisme et du plaisir*, Paris, José Corti, 1987.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline et DUMAS, Marie-Claire (éd.), *L'objet au défi*, Paris, P. U. F., 1987.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline et JABÈS, Edmond (éd.), *Philippe Soupault, le poète*, Paris, Klincksieck, 1992.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline (éd.), *Lire le regard : André Breton & la peinture*, Paris, Lachenal & Ritter, 1993.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline et MATHEWS, Timothy (éd.), *Violence, Théorie, Surréalisme*, Paris, Lachenal & Ritter, 1994.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline et VADÉ, Yves (éd.), *Pensée mythique et surréalisme*, Paris, Lachenal & Ritter, 1996.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline et BLÆDÉ, Myriam (éd.), *Pensée de l'expérience, travail de l'expérimentation au sein des surréalismes et des avant-gardes en Europe*, Paris, Peeters, 2005.

DIDIER, Béatrice et NEEFS Jacques (éd.), *Manuscrits surréalistes. Aragon, Breton, Éluard, Leiris, Soupault*, Saint-Denis, Presses Universitaires de Vincennes, 1995.

FOTIADE, Ramona (éd.), *André Breton. The Power of Language*, Exeter, Elm Bank Publications, 2000.

HULAK, Fabienne (éd.), *Folie et psychanalyse dans l'expérience surréaliste*, Nice, Z'éditions, 1992.

LIVI, François (éd.), *Futurisme et Surréalisme*, Lausanne, L'Age d'Homme, 2008.

モダニズム研究会編『モダニズム研究』、思潮社、1994年。

モダニズム研究会編『モダニズムの越境』第1-3巻、人文書院、2004年。

MURAT, Michel (éd.), *André Breton*, Paris, L'Herne, 1998.

MURAT, Michel et BERRANGER, Marie-Paule (éd.), *Une pelle au vent dans les sables du rêve : Les Ecritures automatiques*, Lyon, Presses Universitaires de Lyon, 1992.

SAPORTA, Marc et BÉHAR Henri (éd.), *André Breton ou le surréalisme, même*, Lausanne, L'Age d'Homme, 1988.

鈴木雅雄編『シュルレアリスムの射程——言語・無意識・複数性』、せりか書房、1998年。

鈴木雅雄＋真島一郎編『文化解体の想像力——シュルレアリスムと人類学的思考の近代』、人文書院、2000年。

鈴木雅雄＋塚本昌則編『〈前衛〉とは何か？ 〈後衛〉とは何か？——文学史の虚構と近代性の時間』、平凡社、2010年。

宇佐美斉編『アヴァンギャルドの世紀』、京都大学学術出版会、2001年。

3. 雑誌特集号

『パイディア』第6号（「シュルレアリスムと革命」特集）、1969年8月。

Revue des sciences humaines, n° 184 (André Breton), avril 1981.

『現代詩手帖』第44巻4号（「シュルレアリスムと戦争」特集）、2001年4月。

『思想』第1062号（「シュルレアリスムの思想」特集）、2012年10月。

『水声通信』第20号（「思想史のなかのシュルレアリスム」特集）、2007年9/10月。

『水声通信』第23号（「シュルレアリスム美術をどう語るか」特集）、2008年3/4月。

『水声通信』第25号（「シュルレアリスム美術はいかにして可能か」特集）、2008年7/8月。

『ユリイカ』第23巻13号（「アンドレ・ブルトン——シュルレアリスムの法王」特集）、1991年10月。

4. 研究論文

ABASTADO, Claude, « Écriture automatique et instance du sujet », *RSH*, n° 184, 1981, p. 59-75.

ADAMOWICZ, Elza, « Hats or jellyfish? André Breton's collages », FOTIADE, Ramona (éd.), *André Breton. The Power of Language*, Exeter, Elm Bank Publications, 2000, p. 83-95.

ALQUIÉ, Ferdinand, « Le Surréalisme et la psychanalyse », *La Table Ronde*, n° 108, 1956,

p. 145-149.

AMIOT, Anne-Marie, « Le champ du Ψ », *Mélusine*, n° 13, 1992, L'Age d'Homme, p. 9-19.

ANIS, Jacques et VIOLLET, Catherine, « L'automate et son double : Breton et Soupault, *Les Champs magnétiques* », DIDIER, Béatrice et NEEFS Jacques (éd.), *Manuscrits surréalistes : Aragon, Breton, Éluard, Leiris, Soupault*, Saint-Denis, Presses Universitaires de Vincennes, 1995, p. 41-66.

朝吹亮二 「アンドレ・ブルトンの詩の読解」、『教養論叢』、105号、1997年、1-46頁。

ASARI, Makoto, « Le signifiant flottant et le signifiant à halo : Théories du signe chez Claude Lévi-Strauss et André Breton », *Pleine Marge*, n° 32, 2000, p. 139-150.

ASPLEY, Keith, « The Breton-Soupault dialogues », FOTIADE, Ramona (éd.), *André Breton. The Power of Language*, Exeter, Elm Bank Publications, 2000, p. 51-60.

BARON, Pierre, « De Freud à Breton : entre la proie et l'ombre », *Bulletin de liaison*, n° 19, Champs des activités surréalistes, 1983, p. 24-135

BERRANGER, Marie-Paule, « *Poisson soluble*, ou les mains vierges dans la petite niche à fond bleu du travail », MURAT, Michel et BERRANGER, Marie-Paule (éd.), *Une pelle au vent dans les sables du rêve. Les Ecritures automatiques*, Lyon, Presses Universitaires de Lyon, 1992, p. 93-111.

BERRANGER, Marie-Paule, « Les attitudes spectrales de la poésie : *Le Revolver à cheveux blancs* », *RSH*, n° 237, 1995, p. 49-76.

BIENAIMÉRIGO, Dora, « André Breton : “UN CHATEAU À LA PLACE DE LA TÊTE” », *Mélusine*, n° 20, L'Age d'Homme, 2000, p. 145-153.

BLACHÈRE, Jean-Claude, « L'écriture mimétique : essais de simulation de la mentalité primitive chez André Breton », *Les Mots La Vie*, n° 8, p. 71-96.

BOMMERTZ, Claude, « Ouverture sur la dictée magique : appareil titulaire et disposition des poèmes dans *Clair de terre* (1923) d'André Breton », *Revue luxembourgeoise de littérature générale et comparée*, 1998-1999, p. 6-29.

BONNET, Marguerite et HUBERT, Etienne-Alain, « Sur deux types d'écriture surréaliste dans *L'Immaculée Conception* », *Revue d'Histoire littéraire de la France*, 1987, p. 753-758.

BOUILLAGUET, Annick, « La question de l'héritage : André Breton et l'automatisme mental », *Mélusine*, n° 19, L'Age d'Homme, 2000, p. 325-345.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline, « Bavardage et merveille : repenser le surréalisme », *Nouvelle*

Revue de Psychanalyse, n° 20, automne 1989, p. 273-286.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline, « Jeu de l'incipit et travail de la correction dans l'écriture automatique : L'exemple de *L'Immaculée Conception* », MURAT, Michel et BERRANGER, Marie-Paule (éd.), *Une pelle au vent dans les sables du rêve : Les Ecritures automatiques*, Lyon, Presses Universitaires de Lyon, 1992, p. 125-144.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline, « Du bon usage des manuscrits surréalistes, *L'Immaculée conception* (1930) », DIDIER, Béatrice et NEEFS Jacques (éd.), *Manuscrits surréalistes : Aragon, Breton, Éluard, Leiris, Soupault*, Saint-Denis, Presses Universitaires de Vincennes, 1995, p. 15-40.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline, « L'envers du monde, l'envers de la langue : un "travail" surréaliste », *La Révolution surréaliste*, Paris, Centre Georges Pompidou, 2002, p. 349-359.

CHÉNIEUX-GENDRON, Jacqueline, « Jacques Lacan, "L'Autre" d'André Breton », Éric Marty (éd.), *Lacan & la littérature*, Houilles, Manucius, 2005, p. 27-48.

CHEVRIER, Alain, « Une source secrète de *L'Immaculée Conception* », *Mélusine*, n° 13, L'Age d'Homme, 1992, p. 49-70.

CHEVRIER, Alain, « À propos de Breton, de Vaché, et d'un verre de fourmis », *Mélusine*, n° 18, L'Age d'Homme, 1998, p. 274-283.

CHEVRIER, Alain, « André Breton et la psychopathologie de son temps : deux exemples », *Mélusine*, n° 21, L'Age d'Homme, 2001, p. 213-226.

CHEVRIER, Alain, « André Breton et les sources psychiatriques du surréalisme », *Mélusine*, n° 27, L'Age d'Homme, 2007, p. 53-76.

CHEVRIER, Alain, « André Breton et les sources psychiatriques du surréalisme (II) », *Mélusine*, n° 29, L'Age d'Homme, 2009, p. 277-288.

COMBE, Dominique « L'œil existe à l'état sauvage », *Mélusine*, n° 21, L'Age d'Homme, p. 9-24
[コンブ、ドミニク 「眼は野生の状態が存在する」、國分俊宏訳、『思想』第 1062 号、2012 年 10 月、112-132 頁].

GAUDON, Jean, « Collages », MURAT, Michel (éd.), *André Breton*, Paris, L'Herne, 1998, p. 215-227.

郷原佳似 「言語のアポリアから言語の魔術へ——ブランショとシュルレアリスム」、『水声通信』第 20 号、2007 年 9/10 月、76-84 頁。

長谷川晶子 「眼差しのオートマティスム」、土田知則編『狂気のディスクルス』、夏目書房、

- 2006年、77-105頁。
- 星柵守之「ジャック・ヴァシェ覚書」、『仏語仏文学研究』第8号、1992年、175-186頁。
- 星柵守之「声とヴィジョン——アンドレ・ブルトンと「見えるもの」についての覚書」、『白百合女子大学研究紀要』第29号、1993年、63-78頁。
- 星柵守之「マックス・エルンスト——表面をめぐる物語」、『美術手帖』第50巻1号、1998年1月、94-105頁。
- 星柵守之「マッタとアメリカのシュルレアリスム」、『武蔵野美術』第108号、1998年5月、32-39頁。
- 星柵守之「シュルレアリスムと絵画の写真的条件——アンドレ・ブルトンと「見えるもの」についての覚書(2)」、『文学とイメージ——フランス20世紀文学と視覚芸術との交差領域に関する研究』、白百合女子大学、2002年、25-41頁。
- 星柵守之「テルケル／シュルレアリスム——ある前衛を巡って」、『水声通信』第20号、2007年9/10月、107-114頁。
- 星柵守之「ボルタンスキーとシュルレアリスム?」、『水声通信』第23号、2008年3/4月、134-139頁。
- JENNY, Laurent, « Les aventures de l'automatisme », *Littérature*, n° 72, 1988, p. 3-11.
- JENNY, Laurent, « L'automatisme comme mythe rhétorique », MURAT, Michel et BERRANGER, Marie-Paule (éd.), *Une pelle au vent dans les sables du rêve : Les Ecritures automatiques*, Lyon, Presses Universitaires de Lyon, 1992, p. 27-32.
- LACAN, Jacques, « Écrits “inspirés” : schizographie », en collaboration avec les présentateurs de la communication, *Annales médico-psychologiques*, décembre 1931, t. 2, p. 508-522.
- LAURENS, Gilbert, « André Breton et le Mont-de-Piété de Jacques Doucet », *Travaux de littérature*, n° 11, 1998, p. 361-372.
- LE BOT, Marc, « Automatisme psychique et pensée artistique », *Mélusine*, n° 12, L'Age d'Homme, 1991, p. 199-207.
- LEVAILLANT, Françoise, « L'analyse des dessins d'aliénés et de médiums en France avant le Surréalisme : Contribution à l'étude de l'automatisme dans l'esthétique du XX^{ème} siècle », *Revue de l'art*, n° 50, C. N. R. S., 1980.
- LIMAT-LETELLIER, Nathalie, « Les “Écritures automatiques” d'Aragon : du manuscrit à la publication », in DIDIER, Béatrice et NEEFS Jacques (éd.), *Manuscrits surréalistes. Aragon, Breton, Éluard, Leiris, Soupault*, Saint-Denis, Presses Universitaires de Vincennes, 1995,

p. 121-164.

前之園望「発生原理の追体験——アンドレ・ブルトンの詩的空間」、『フランス語フランス文学研究』第 89 号、2006 年、156-170 頁。

MATSUURA, Hisaki, « Shuzo Takiguchi et le surréalisme au Japon », *Mélusine*, n° 3, L'Age d'Homme, 1982, p. 36-46.

MATSUURA, Hisaki, « D'où viennent ces voix et ces murmures ? », *Pleine Marge*, n° 30, 1999, p. 59-68.

MALEPSINE, Emile, « Poisson soluble : Manifeste du surréalisme d'André Breton », *Manomètre*, n° 7, février 1925 ; rééd. Paris, Jean-Michel Place, 1977.

MAUBON, Catherine, « Le Forçat vertigineux ou du bon usage du Surréalisme », DIDIER, Béatrice et NEEFS Jacques (éd.), *Manuscrits surréalistes. Aragon, Breton, Éluard, Leiris, Soupault, Saint-Denis*, Presses Universitaires de Vincennes, 1995, p. 67-89.

MURAT, Michel, « Les lieux communs de l'écriture automatique », *Littérature moderne*, n° 1, Champion-Slatkine, 1988, p. 123-134.

MURAT, Michel, « Jeux de l'automatisme », MURAT, Michel et BERRANGER, Marie-Paule (éd.), *Une pelle au vent dans les sables du rêve : Les Ecritures automatiques*, Lyon, Presses Universitaires de Lyon, 1992, p. 5-25.

MURAT, Michel, « 'C'est encore au dialogue...' », FOTIADE, Ramona (éd.), *André Breton : The Power of Language*, Exeter, Elm Bank Publications, 2000, p. 37-50.

永井敦子「クレメント・グリーンバーグのシュルレアリスム批判」、『水声通信』第 23 号、2008 年 3/4 月、112-123 頁。

中田健太郎「シュルレアリスムの時間性——アンドレ・ブルトンとマルセル・デュシャンの言語論」、『Résonances』第 5 号、2007 年、17-22 頁。

中田健太郎「アンドレ・ブルトンの自動記述の誕生——無償の言語と他者の言語の狭間で」、『日本フランス語フランス文学会関東支部論集』第 16 号、2007 年、233-244 頁。

中田健太郎「シュルレアリスムと方法概念——マックス・エルンストのコラージュについて」、『水声通信』第 23 号、2008 年 3/4 月、69-79 頁。

中田健太郎「オートマティックな形態学——オスカル・ドミンゲス『リトクロニックなエーストカード』」、『水声通信』第 25 号、2008 年 7/8 月、146-155 頁。

中田健太郎「党派なき党派性のために——「シュルレアリスムとクレール」について」、『ユリイカ』第 43 巻 4 号、2011 年 4 月、220-227 頁。

- 中田健太郎「理論の見る夢——オートマティスムの歴史」、『思想』第 1062 号、2012 年 10 月、26-59 頁。
- 中田健太郎「現代詩にとってシュルレアリスムの課題とはなにか（上）——藤井貞和の場合」、『現代詩手帖』第 56 卷 8 号、2013 年 8 月、148-154 頁。
- 中田健太郎「現代詩にとってシュルレアリスムの課題とはなにか（中）——ボヌフォワ、ポンジュの場合」、『現代詩手帖』第 56 卷 9 号、2013 年 9 月、198-203 頁。
- 中田健太郎「現代詩にとってシュルレアリスムの課題とはなにか（下）——瀧口修造、吉岡実の場合」、『現代詩手帖』第 56 卷 10 号、2013 年 10 月、146-151 頁。
- NÉE, Patrick, « Y a-t-il un “art poétique” surréaliste ? », *Études littéraires*, vol. 22, n° 3, 1989-1990, Presses de l'Université Laval, p. 87-99.
- PONTALIS, Jean-Bertrand, « Les vases non communicants », *NRF*, n° 302, mars 1978, p. 26-45.
- ROBERT, Bernard-Paul, « À propos d'André Breton », *Revue de l'Université d'Ottawa*, janvier-mars 1976, p. 128-144.
- ROBERT, Bernard-Paul, « Profils de “la fuite des idées” et le surréalisme », *Revue de l'Université d'Ottawa*, juillet-septembre, 1977, p. 345-364.
- ROBERT, Bernard-Paul, « Origines du surréalisme », *Revue de l'Université d'Ottawa*, avril-juin, 1982, p. 190-205.
- SAITOU, Tetsuya, « Effets de collage à la surface du texte bretonien », *Pleine Marge*, n° 42, 2005, p. 137-152.
- 齊藤哲也「瀧口修造の手——シュルレアリスムの「機械」のために」、中山昭彦＋吉田司雄編『機械＝身体のポリティーク』、青弓社、2006 年、75-99 頁。
- 齊藤哲也「逸脱するイマージュ——シュルレアリスムと絵画の（離）接点」、『水声通信』第 23 号、2008 年 3/4 月、57-68 頁。
- 齊藤哲也「絵画を分壊する——マッタとブローネルのあいだで：《インターヴィジョン》」、『水声通信』第 25 号、2008 年 7/8 月、128-137 頁。
- 齊藤哲也「声を送る——オートマティスムのヴァリエーション」、『NORD-EST：日本フランス語フランス文学会東北支部会報』第 3 号、2010 年、7-10 頁。
- 齊藤哲也＋中田健太郎「シュルレアリスムなう——オートマティスム論と現在」、『水声通信』第 34 号、2011 年第 1 号、62-86 頁。
- SCHMITT, Patrice, « De la psychose paranoïaque dans ses rapports avec Salvador Dalí », *Salvador Dalí, rétrospective 1920-1980*, Paris, Centre Georges-Pompidou, 1979-1980, p. 262-267.

- SCOPELLITI, Paolo, « Une contribution surréaliste à la psychanalyse : *L'Immaculée conception* d'Eluard et Breton », *Mélusine*, n° 13, L'Age d'Homme, 1992, p. 37-48.
- SEBBAG, Georges, « Les durées automatiques », *Mélusine*, n° 13, L'Age d'Homme, 1992, p. 231-236.
- SEBBAG, Georges, « Breton rêve de Domínguez », *La part du jeu et du rêve : Óscar Domínguez et le surréalisme 1906-1957*, Paris, Hazan, 2005, p. 65-75.
- STAROBINSKI, Jean, « Freud, Myers, Breton », *L'Arc* 34, 1968, p. 87-96 ; *La relation critique*, Paris, Gallimard, 1970, p. 320-341.
- 鈴木啓二「触媒としての外部——ヨーロッパ的「精髓」の回帰をめぐる」、石井洋二郎＋工藤庸子編『フランスとその〈外部〉』、東京大学出版会、2004年、3-26頁。
- 鈴木雅雄「ジャック・ヴァシェは死なない」、『地域文化研究』第1号、1990年、109-128頁。
- 鈴木雅雄「ひまわりは誰の花——『狂気の愛』と客観的偶然の問題」、『ユリイカ』第23巻13号、1991年12月、50-71頁。
- 鈴木雅雄「言葉たちは意味を奪われねばならないか——シュルレアリスムのルーセル解釈に関する覚書」、『東京大学教養学部外国語科研究紀要』、1996年、11-24頁。
- 鈴木雅雄「アンチ=ピグマリオンの詩学——ロベール・デスノスとイメージの問題」、『早稲田大学大学院文学研究科紀要』第46号、2000年、45-56頁。
- 鈴木雅雄「狂気よ、語れ——シュルレアリスムにとって精神分析とは何か」、サルバドール・ダリ『ミレー《晩鐘》の悲劇的神話——「パラノイア的=批判的」解釈』、鈴木雅雄訳、人文書院、2003年、209-256頁。
- 鈴木雅雄「モダニズムならざるもの——思想史にとってシュルレアリスムとは何か」、『水声通信』第20号、2007年9/10月、50-55頁。
- 鈴木雅雄「シュルレアリスムと手書き文字の問題」、『文学作品が生まれるとき——生成のフランス文学』、マニエスタリ、京都大学学術出版会、2010年、475-499頁。
- 鈴木雅雄「大鳥かごのなかのアンチ=ナルシス——アンドレ・ブルトンの詩的エクリチュールと「視覚性」の問題」、『詩と絵画——ボードレール以降の系譜』、未知谷、2011年、113-142頁。
- 鈴木雅雄「抵抗する「フィギュール」——思想史のなかのシュルレアリスム」、『思想』第1062号、2012年10月、6-25頁。
- 谷川渥「アンドレ・マッソン——オートマティスムの絵画」、『美術手帖』第750号、1998年1月、106-117頁。

TLATLI, Soraya, « La rature odieuse [André Breton et Philippe Soupault, Les Champs magnétiques, Lachenal & Ritter, 1988] », *Critique : revue générale des publications françaises et étrangères*, n° 516, 1990, p. 385-392.

VADÉ, Yves, « écriture et vitesse », BOMMERTZ, Claude et CHÉNIEUX-GENDRON Jacqueline (éd.), *Regards/mises en scène dans le surréalisme et les avant-gardes*, Paris, Peeters, 2002, p. 279-298.

III. 精神医学・精神分析に関するテキスト

AZAM, Etienne Eugène, *Hypnotisme, double conscience et altérations de la personnalité : Le cas Félicité X*, Paris, Félix Alcan, 1887 ; rééd. Paris, L'Harmattan, 2004.

BAILLARGER, Jules Gabriel François, « Application de la physiologie des hallucinations à la physiologie du délire considérée d'une manière générale : Théorie de l'Automatisme », *Recherches sur les maladies mentales*, t. 1, Paris, G. Masson, 1890, p. 494-500.

BAILLARGER, Jules Gabriel François, « La théorie de l'automatisme étudiée dans le manuscrit d'un monomane », *Annales médico-psychologiques*, 3^{ème} série, t. 2, janvier 1856, p. 54-65.

BABINSKI, Joseph, « Définition de l'hystérie », extraits des comptes-rendus des séances de la Société de Neurologie de Paris, Paris, Mason et Cie, 1908.

BARUK, Henri, *La psychiatrie française de Pinel à nos jours*, Paris, P. U. F., 1967.

BELLEMIN-NOËL, Jean, *Vers l'inconscient du texte*, Paris, P. U. F., 1979.

BINET, Alfred, *La psychologie du raisonnement : recherches expérimentales par l'hypnotisme*, Félix Alcan, 1886 ; rééd. Paris, L'Harmattan, 2005.

BORCH-JACOBSEN, Mikkel, MICHAUD, Eric et NANCY, Jean-Luc, *Hypnoses*, Paris, Galilée, 1984.

BROCA, Paul, *Ecrits sur l'aphasie [1861-1869]*, Paris, L'Harmattan, 2004.

CARROY, Jacqueline, *Hypnose, suggestion et psychologie : L'invention des sujets*, Paris, P. U. F., 1991.

CEILLIER, André, « Recherches sur l'automatisme psychique », *L'Encéphale*, mars 1927, p. 272-297.

CHARCOT, Jean-Martin, *Leçons du mardi à Salpêtrière : 1888-1889*, Paris, E. Lecrosnier et Babé,

1890.

CHARCOT, Jean-Martin, *Clinique des maladies du système nerveux*, t. 2, Paris, Félix Alcan, 1893.

シャルコー、ジャン・マルタン+G. ゲッツ、クリストファー（編著）『シャルコー神経学講義』、加我牧子+鈴木文晴訳、白揚社、1999年。

CHARLES, Monique, *EY/LACAN : Du dialogue au débat ou L'Homme en question*, Paris, L'Harmattan, 2004.

CHERTOK, Léon et BORSH-JACOBSEN, Mikkel, *Hypnose et psychanalyse*, Paris, Dunod, 1987.

CHRISTIAN, Delance, *L'automatisme mental de De Clérambault*, Thèse en médecine, Université de Paris Sud, 1984.

DE CERTEAU, Michel, *Histoire et psychanalyse entre science et fiction*, Paris, Gallimard, 1986
[ド・セルトー、ミシエル『歴史と精神分析——科学と虚構の間で』、内藤雅文訳、法政大学出版局、2003年].

DE CLÉRAMBAULT, Gaétan Gatian, *Œuvres psychiatriques*, Paris, P. U. F., 1942.

DE CLÉRAMBAULT, Gaétan Gatian, *L'automatisme mental*, Paris, Les empêcheurs de penser en rond, 1992.

DIDI-HUBERMAN, Georges, *Invention de l'hystérie : Charcot et l'iconographie de la Salpêtrière*, Paris, Macula, 1982.

ELLENBERGER, Henri F., *Histoire de la découverte de l'inconscient*, Paris, Fayard, 1994.

EY Henri, « La Notion d'automatisme en psychiatrie », *L'Évolution psychiatrique*, seconde série, n° 3, 1932, p. 11-35.

EY Henri, *Hallucinations et Délire : Les formes hallucinatoires de l'automatisme verbal*, Paris, Félix Alcan, 1934.

EY Henri, *La psychiatrie devant le surréalisme* (conférence faite en 1947), Paris, Centre d'éditions psychiatriques, 1948, p. 3-54.

FAREZ, Paul, *La Psycho-analyse française*, Paris, A. Maloine, 1915.

FREUD, Sigmund, *Gesammelte Werke*, t. 14, London, Imago, 1948.

GAUCHET, Marcel et SWAIN, Gladys, *Le Vrai Charcot*, Paris, Calmann-Lévy, 1997.

GREENBERG, Valerie D., *Freud and his Aphasia Book. Language and the Sources of Psychoanalysis*, Ithaca, Cornell University Press, 1997.

HANS, Prinzhorn, *Bildnerei der Geisteskranken*, 1922 ; *Expressions de la folie*, traduit par Alain Brousse et Marielène Weber, Paris, Gallimard, 1984.

- 原和之『ラカン——哲学空間のエクソダス』、講談社選書メチエ、2002年。
- HENRY, Michel, *Généalogie de la psychanalyse*, Paris, P. U. F., 1985.
- HESNARD, Angelo, *De Freud à Lacan*, Paris, Éditions Scientifiques Françaises, 1970.
- JANET, Pierre, *L'automatisme psychologique*, Paris, Félix Alcan, 1889 ; rééd. Paris, L'Harmattan, 2005 [ジャネ、ピエール『心理学的自動症——人間行動の低次の諸形式に関する実験心理学的試論』、松本雅彦訳、みすず書房、2013年].
- JANET, Pierre, « La Psycho-analyse », *Journal de psychologie normale et pathologique*, janvier-février 1914, p. 1-36 ; mars-avril 1914, p. 97-130.
- JANET, Pierre, *Conférences à la Salpêtrière (1892)*, Paris, L'Harmattan, 2003.
- JANET, Pierre, *La psychanalyse de Freud (1913)*, Paris, L'Harmattan, 2004.
- LACAN, Jacques, *Écrits*, Paris, Seuil, 1966 ; rééd. t. 1-2, 1999.
- LACAN, Jacques, *De la psychose paranoïaque dans ses rapports avec la personnalité (1932)* ; Paris, Seuil, 1975 [ラカン、ジャック『人格との関係からみたパラノイア性精神病』、宮本忠雄＋関忠盛訳、朝日出版社、1987年].
- ラカン、ジャック『2人であることの病い——パラノイアと言語』、宮本忠雄訳、講談社学術文庫、2011年。
- LAPLANCHE, Jean et PONTALIS, Jean-Bertrand, *Vocabulaire de la psychanalyse*, Paris, P. U. F., 1967 ; 13^{ème} édition 1997.
- LEROY, Raoul, « Dessins d'un dément précoce avec état maniaque », *Bulletin de la Société clinique de médecine mentale*, 1911.
- LÉVY-VALENSI, Joseph, *L'automatisme mental dans les délires systématisés chroniques d'influence et hallucinatoires*, Paris, Masson et Cie, 1927.
- MAEDER, Alphonse, « Sur le mouvement psychanalytique : un point de vue nouveau en psychologie », *L'Année Psychologique*, n° 18, 1912, p. 389-418.
- MASSON, Céline, *Œuvres complètes de Freud : Résumé analytique.*, t. 1, Paris, Hermann, 2006.
- MAURY, Alfred, *Le Sommeil et les rêves (1861)*, 3^{ème} édition, Paris, Didier, 1865.
- MESMER, Franz Anton, *Mémoire sur la découverte du magnétisme animal*, Paris, Didot le jeune, 1779 ; rééd. Paris, L'Harmattan, 2005.
- MORDIER, Jean-Pierre, *Les débuts de la psychanalyse*, Paris, Maspero, 1981.
- MYERS, Frederic, « Automatic writing », *Proceedings of the Society for Psychological Research*, n° 3, 1885, p. 1-63 ; n° 4, 1887, p. 209-261 ; n° 5, 1889, p. 533-548.

- NASSIF, Jacques, *Freud L'inconscient*, Paris, Flammarion, 1977.
- NICOLAS, Serge, *Histoire de la psychologie française : Naissance d'une nouvelle science*, Paris, In press, 2002.
- NICOLAS, Serge, *Théodule Ribot : fondateur de la psychologie*, Paris, L'Harmattan, 2005.
- NICOLAS, Serge, *Les facultés de l'âme, histoire des systèmes*, Paris, L'Harmattan, 2005.
- NOIZET, François-Joseph, *Mémoire sur le somnambulisme et le magnétisme animal (1820-1854)*, Paris, L'Harmattan, 2005.
- PASCAL, Constanza, *La Démence précoce*, Paris, Félix Alcan, 1911.
- PETIT, Georges, *Essai sur une variété de pseudo-hallucinations*, Bordeaux, Cadoret, 1913.
- PONTALIS, J.-B., *Entre le Rêve et la douleur*, Paris, Gallimard, 1977.
- POROT, Antoine, *Manuel alphabétique de psychiatrie clinique et thérapeutique*, 7^{ème} édition, Paris, P. U. F., 1996.
- RÉGIS, Emmanuel, *Précis de psychiatrie* (première éd. sous le titre de *Manuel pratique de médecine mentale*, 1885), Paris, Doin, 5^{ème} édition, 1914.
- RÉGIS, Emmanuel et HESNARD, Angelo, « La doctrine de Freud et son école », *L'Encéphale*, avril 1913, p. 356-378 ; mai 1913, p. 446-481 ; juin 1913, p. 537-555.
- RÉGIS, Emmanuel et HESNARD, Angelo, *La psycho-analyse des névroses et des psychoses*, Paris, Félix Alcan, 1914 ; rééd. Paris, L'Harmattan, 2002.
- RÉJA, Marcel, *L'Art chez les fous, le dessin, la prose, la poésie*, Paris, Société du Mercure de France, 1907.
- RIBOT, Théodule, *Les maladies de la mémoire*, Paris, Félix Alcan, 1881 ; rééd. Paris, L'Harmattan, 2005.
- RIBOT, Théodule, *Les maladies de la mémoire*, Paris, Baillière, 1882 ; rééd. Paris, L'Harmattan, 2002.
- RICÉUR, Paul, *De l'interprétation, essai sur Freud*, Paris, Seuil, 1965.
- ROGUES DE FURSAC, Joseph, *Les Ecrits et les Dessins des aliénés dans les maladies nerveuses et mentales (essai clinique)*, Paris, Masson et Cie, 1905.
- ROUDINESCO, Elisabeth, *La Bataille de cent ans : Histoire de la psychanalyse en France*, t. 1-2, Paris, Seuil, 1982, 1986 ; édition revue et corrigée : *Histoire de la psychanalyse en France*, t. 1-2, Paris, Fayard, 1994.
- ROUSSILLON, René, *Du Baquet de Mesmer au baquet de Freud*, Paris, P. U. F., 1985.

- ROUSTANG, François, *Influence*, Paris, Minuit, 1990.
- SCHNEIDER, Michel, *Voleurs de mots*, Paris, Gallimard, 1985.
- SÉGLAS, Jules, *Des troubles du langage chez les aliénés*, Paris, J. Rueff, 1892, p. 197-269.
- SÉGLAS, Jules, *Leçons cliniques sur les maladies mentales et nerveuses : Salpêtrière 1887-1894*, Paris, Asselin et Houzeau, 1895.
- SWAIN, Gladys, *Dialogue avec l'insensé. Essais d'histoire de la psychiatrie*, Paris, Gallimard, 1994.
- TAINE, Hippolyte, *De l'Intelligence*, t. 1-2, Paris, Hachette 1870 ; rééd. Paris, L'Harmattan, 2005.
- TEYSSOU, Roger, *Charcot, Freud et l'hystérie*, Paris, L'Harmattan, 2012.
- TRILLAT, Etienne, *Histoire de l'hystérie*, Paris, Seghers, 1986.
- VAYSSE, Jean-Marie, *L'inconscient des modernes. Essai sur l'origine métaphysique de la psychanalyse*, Paris, Gallimard, 1998.
- WAJEMAN, Gérard, *Le maître et l'hystérique*, Paris, Navarin/Seuil, 1982.

IV. その他のテキスト

- 阿部静子『「テル・ケル」は何をしたか——アヴァンギャルドの架け橋』、慶應義塾大学出版会、2011年。
- BARTHES, Roland, *Œuvres complètes*, t. 1-5, Paris, Seuil, 2002.
- バルト、ロラン『批評をめぐる試み』、吉村和明訳、みすず書房、2005年。
- ベンヤミン、ヴァルター『ベンヤミン・コレクション』第1巻、浅井健二郎編訳、ちくま学芸文庫、1995年。
- BERGSON, Henri, *Matière et mémoire : Essai sur la relation du corps à l'esprit*, Paris, P. U. F., 1939.
- BLANCHOT, Maurice, *La Part du feu*, Paris, Gallimard, 1949 ; Paris, Gallimard, 1987.
- BLANCHOT, Maurice, *L'Entretien infini*, Paris, Gallimard, 1969.
- ブランショ、モーリス+ポーラン、ジャン+内田樹『言語と文学』、野村英夫+山邑久仁子訳、書肆心水、2004年。
- ブランショ、モーリス『カフカからカフカへ』、山邑久仁子訳、書肆心水、2013年。
- CANGUILHEM, Georges, *La Formation du concept de réflexe : aux XVI^{ème} et XVII^{ème} siècle*, Paris,

- J. Vrin, 1977 [カンギレム、ジョルジュ『反射概念の形成——デカルト的生理学の淵源』、金森修訳、法政大学出版局、1988年].
- CLÉMENT, Bruno, *Le récit de la méthode*, Paris, Seuil, 2005.
- COMPAGNON, Antoine, *La seconde main ou le travail de la citation*, Paris, Seuil, 1979.
- DE CERTEAU, Michel, *L'Écriture de l'histoire*, Paris, Gallimard, 1975 [ド・セルトー、ミシェル『歴史のエクリチュール』、佐藤和生訳、法政大学出版局、1996年].
- DERRIDA, Jacques, *L'écriture et la différence*, Paris, Seuil, 1967.
- DESCARTES, René, *Discours de la méthode* (1637), *Œuvres de Descartes*, t. 4, Paris, Vrin/CNRS, 1902, p. 1-78 [デカルト、ルネ『方法序説』、谷川多佳子訳、岩波文庫、1997年].
- DESCARTES, René, *Les passions de l'âme* (1649), *Œuvres de Descartes*, t. 11, Paris, Vrin/CNRS, 1909, p. 301-497 [デカルト、ルネ『情念論』、谷川多佳子訳、岩波文庫、2008年].
- ENGELS, Friedrich, *Philosophie, économie politique, socialisme : contre Eugène Dühring* (1878), Edmond Laskine (trad.), Paris, V. Giard & E. Brière, 1911.
- ENGELS, Friedrich Engels, *Herrn Eugen Dührings Umwälzung der Wissenschaft (Anti-Dühring)* (1878), *Karl Marx Friedrich Engels Gesamtausgabe (MEGA)*, Bd. 27, Berlin, Dietz Verlag, 1988.
- エンゲルス、フリードリッヒ『反デューリング論』(1878年)上巻、秋間実訳、新日本出版社、2001年.
- FOUCAULT, Michel, *Naissance de la clinique*, Paris, P. U. F., 1963.
- FOUCAULT, Michel, *Les mots et les choses*, Paris, Gallimard, 1966.
- HUGO, Victor, *Œuvres poétiques*, t. 1-3, Paris, Gallimard, 1964-1974.
- ユゴー、ヴィクトル『ヴィクトル・ユゴー文学館』第1巻、辻昶＋稲垣直樹＋小淵昭夫訳、潮出版社、2000年。
- 稲垣直樹『フランス〈心霊科学〉考——宗教と科学のフロンティア』、人文書院、2007年。
- 石井洋二郎＋工藤庸子(編)『フランスとその〈外部〉』、東京大学出版会、2004年。
- 石井洋二郎『ロートレアモン——越境と創造』、筑摩書房、2008年。
- JACKSON, Elisabeth R., *L'Evolution de la mémoire involontaire dans l'œuvre de Marcel Proust*, Paris, A. G. Nizet, 1966.
- JAKOBSON, Roman, *Selected writings II : word and language*, The Hague/Paris, Mouton, 1971.
- ロマン・ヤーコブソン『一般言語学』、川本茂雄監訳、みすず書房、1973年。
- KARDEC, Allan, *Le livre des esprits* (1857), 35^{ème} edition, Paris, librairie des sciences

- psychologiques, 1889.
- KARDEC, Allan, *Qu'est-ce que le spiritisme* (1859), 4^{ème} edition, Paris, les éditeurs du “*Livre des Esprits*”, 1863.
- KARDEC, Allan, *Le livre des mediums* (1861), 6^{ème} edition, Paris, Didier et Cie, 1863.
- KITTLER, Friedrich, *Grammophon, Film, Typewriter*, Berlin, Brinkmann & Bose, 1986 [キットラー、フリードリッヒ『グラムフォン・フィルム・タイプライター』上下巻、石光泰夫＋石光輝子訳、ちくま学芸文庫、2006年].
- クリフォード、ジェイムズ『文化の窮状——二十世紀の民族誌、文学、芸術』、太田好信＋慶田勝彦＋清水展＋浜本満＋古谷嘉章＋星埜守之訳、人文書院、2003年。
- LAUTRÉAMONT, *Œuvres complètes*, Paris, Gallimard, 2009.
- ロートレアモン『ロートレアモン——イジドル・デュカス全集』、石井洋二郎訳、筑摩書房、2001年。
- MALLARMÉ, Stéphane, *Œuvres complètes*, t. 1-2, Paris, Gallimard, 1998-2003.
- マラルメ、ステファヌ『マラルメ全集』第1-5巻、松室三郎＋菅野昭正＋清水徹＋阿部良雄＋渡辺守章訳、筑摩書房、1998-2010年。
- 中山康雄『現代唯名論の構築——歴史の哲学への応用』、春秋社、2009年。
- O'BRIEN, Justin, « La mémoire involontaire avant Marcel Proust », *Revue de littérature comparée*, Bivin et Cie, 19^e année, n° 1, janvier-mars 1939, p. 19-36.
- RIMBAUD, Arthur, *Œuvres complètes*, Paris, Gallimard, 2009.
- ランボー、アルチュール『ランボー全詩集』、平井啓之＋湯浅博雄＋中地義和訳、青土社、1994年。
- REVERDY, Pierre, *Nord-sud, Self-defence et autres écrits sur l'art et la poésie : 1917-1926*, Paris, Flammarion, 1975.
- RICHEL, Charles, *Traité de métapsychique*, Paris, Félix Alcan, 1922.
- SABATO, Ernesto, *Avant la fin* (1998), Michel Bibard (tr.), Paris, Seuil, 2000.
- SARTRE, Jean-Paul, *Qu'est-ce que la littérature ?*, Paris, Gallimard, 1985 [サルトル、ジャン＝ポール『文学とは何か』、加藤周一＋海老坂武＋白井健三郎訳、法政大学出版局、1988年].
- 清水徹『マラルメの〈書物〉』、水声社、2011年。
- STEINMETZ, Jean-Luc, *Le Champ d'écoute*, Neuchâtel, Les Éditions de la Baconnière, 1985.
- STEINMETZ, Jean-Luc, *La poésie et ses raisons*, Paris, Corti, 1990.
- THINÈS, Georges, *Psychologie des animaux*, Bruxelles, Mardaga, 1995.

VEESER, H. Aram Veese (éd.), *The New Historicism*. London, Routledge, 1989.
箭川修+川田潤+佐々木和貴『新歴史主義からの逃走』、松柏社、2001年。
Les secrets du magnétisme et de l'hypnotisme dévoilés, Paris, Garnier frères, 1910.

V. 辞書、百科事典類

Dictionnaire historique de la langue française, Paris, Le Robert, 1992.

Encyclopædia Universalis, 4^{ème} édition, Paris, Encyclopædia Universalis, 1995.

Grand dictionnaire universel du XIX^{ème} siècle, Paris, Administration du grand Dictionnaire universel,
1866-1878.

Supplément à l'Encyclopédie, t. 1, Amsterdam, M. M. Rey, Libraire, 1776.

The Oxford English Dictionary, Oxford, Oxford University Press, 2^{ème} édition, 1989.